

令和7年5月29日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

- 1 開 会 時 間 9 時 3 0 分
- 2 閉 会 時 間 1 0 時 2 3 分
- 3 教 育 長 名 和 田 智 司
- 4 署 名 委 員 三 好 祐 太

5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏 名
○	教育長	和 田 智 司
○	教育委員 教育長職務代理者	杉 本 か お り
○	教育委員	古 正 栄 司
○	教育委員	三 好 祐 太
○	教育委員	藤 原 直 彦

- 6 出席者氏名
- | | |
|--------------|-------|
| 教育部長 | 松本 幸生 |
| 教育総務課長 | 田嶋 卓司 |
| 教育指導課長 | 倉重 成歩 |
| 教育指導課課長代理 | 高谷 松慶 |
| 生涯学習課長 | 山下 昌志 |
| 教育指導課指導班長 | 加藤 昭浩 |
| 教育総務課教育総務班長 | 高橋 篤史 |
| 教育総務課教育総務班主事 | 川名 義紀 |

- 7 傍 聴 者 4 名

- 8 調 製 者 教育総務課教育総務班主事 川 名 義 紀

1 開会宣言

(教育長) 令和7年度5月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

三好委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 5月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

(藤原委員) 6月14・15日の放課後子ども教室における保護者の参画について、保護者も交えた企画等を検討されているか。

(生涯学習課長) 親子で参加できる綱引きなどを考えている。ただ、あくまでも放課後子ども教室は、複数のメニューを用意して、子どもが自主的に選択できるものだと考えている。しかし、導入の1つとして親子でできる企画を検討している。LINE等を活用し企画のアナウンスをしていきたいと考えている。

(藤原委員) 去年の二宮小学校では中学生が講師をしているなど、だんだんと小中一貫の流れが放課後子ども教室にも入ってきて良いと思う。また、その場に保護者が来るなら、小中一貫に向けての発信ができるとより良い。二宮町全体で取り組んでいる位置づけの場所になっていけると良いと思う。

(杉本委員) 保護者から意見があったかもしれないが、今年度小学校と中学校の運動会の日程が近かった。小中一貫を進めている中で、運動会の日程が近いと、小・中学校にそれぞれ子どもが通っていると片方しか行けなくなってしまう。行事の日程は学校が決めているのか。

(教育総務課長) 基本的には他の学校の日程を参考に学校主導で決めている。

(教育指導課長) 年度末に教務担当が集まり、各学校の年間の予定を出し合って検討している。しかし、カリキュラムの編成上難しい部分もあるので、苦肉の策でこのようなスケジュールとなってしまった。

(三好委員) 5月2日の中地区教育長会議でのインクルーシブの研究について、どのような話題が挙がったか。

(教育長) 大磯町と寒川町、葉山町でのグループでインクルーシブ教育を題材に各町の取り組み状況について共有した。それを踏まえ、県インクルーシブ課担当部長よりZoomで講演会を行った。今後その経験をどのように活かしていくかを検討していきたいと考えている。

4 付議事項

(1) 議案第4号 二宮町教育支援委員会委員の委嘱について

(教育指導課長) 二宮町教育支援委員会委員の委嘱について資料に基づいて説明

(教育長) 委員に議案第4号について諮る。

委員全員賛成により、議案第4号は承認される。

(2) 議案第5号 令和8年度二宮町立小・中学校で使用する教科用図書の採択方針(案)について

(教育指導課長) 令和8年度二宮町立小・中学校で使用する教科用図書の採択方針(案)について資料に基づいて説明

(藤原委員) 今までと変更点はあるか。

(教育指導課長) 変更点はないが、毎年採択は行わなければならない、法律に基づいて採択の方針を定めている。

(藤原委員) 今年度は教科書採択があるか。

(教育指導課長) 小学校と中学校の教科書は令和5年・6年で採択をされているので、同一の教科用図書を4年間使用することとなっている。しかし、法律に基づき同一の教科書を採択するためにも、毎年採択をしなければならないことになっている。

(教育長) 委員に議案第5号について諮る。

委員全員賛成により、議案第5号は承認される。

(3) 議案第6号 令和7年度一般会計補正予算(第1号補正)について

(教育総務課長) 令和7年度一般会計補正予算(第1号補正)について資料に基づいて説明

- 非公開 -

5 報告・協議事項

(1) 小・中学校学級編成及び児童生徒数について

(教育総務班長) 小・中学校学級編成及び児童生徒数について資料に基づいて説明。

(藤原委員) 児童生徒数についてはあまり極端に減少してはいないと思うが、教育委員会としてはどのように受けとめているか。

(教育総務課長) 想定より下がってないと思う。

(古正委員) 特別支援学級に在籍していた児童が、両中学校に入学していないケースがあるようだが、特別支援学校等に進学をしたのか。

(教育総務課長) 特別支援学校へ進学するケースも考えられる。

(古正委員) 小学校では特別支援学級に在籍をしているが、中学校へ進学するにあたり、様々な困難が伴うために、特別支援学校を選択される方もいる。本人の状況やご家庭の都合もあると思うが、地元の公立中学校に進学できると良いと思う。ぜひ教育委員会として、就学相談等丁寧な対応をお願いしたい。

二宮小学校の病弱級の児童について、看護師はどのような配置となっているか。

(教育指導課長) 3名体制で、月 20 日配置している。看護師が付くことによって、安心して学校生活が送れるようになっている。

(2) その他

(古正委員) 卒業生が中学校の部活の話をしてくれるので、非常に興味関心がある。令和元年に二宮町立学校に係る部活動の方針が策定されたが、翌年に神奈川県の部活動指導ハンドブックが改訂されている。そのため町の方針にも反映した方が良い内容があると思う。また、昨年度から二宮町では拠点校方式の部活動がスタートしているので、その理念についても方針に反映する必要があるのかと思う。それから、大和市では令和元年に部活動指導中に起きた事故を受けて、この 4 月に全面改訂をしている。部活動指導中に起きる事故については、いつでもどこでも起こり得る事故だと思う。二宮町では改訂に向けた動きがあるか。

(教育指導課長) 現在は改訂についての動きはないが、必要があれば検討していきたいと思う。

(古正委員) もし改訂をする場合には、学校現場の意見等も聞いた上で、より良いものができればと思う。

(藤原委員) 県等の方針を読まれて、改訂が必要な部分はどのあたりか。

(古正委員) 拠点校方式と、徹底した事故防止や不祥事防止、不祥事防止による安心安全な部活動といった項目を設け、事故防止や安全管理、熱中症予防など、これまで以上に進めなければいけないだろうと思う。そのためにその項目を増やした方が良いと思う。

(藤原委員) 大和市でも 2019 年に事故があり、方針がこの春に出たとすると、6 年経過している。部活動を地域でどのように受け入れ、変更していくかを別途取り組まれている中で、それはいつまでにやり、方針はいつまでに変えるかを、年単位で考えた上で、今なのか今ではないのかみたいなことを議論した方が良いと思う。

ー 次回教育委員会予定 ー

(教育総務班長) 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

10 時 23 分 閉会